



雪印メグミルク

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2021年2月9日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 2270 URL <https://www.meg-snow.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 啓治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 渡邊 健太郎 TEL 03-3226-2124
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	470,619	0.3	16,955	14.7	18,445	12.5	11,541	12.8
2020年3月期第3四半期	469,118	2.1	14,788	5.8	16,400	7.8	10,235	7.3

（注）包括利益 2021年3月期第3四半期 15,290百万円（21.4%） 2020年3月期第3四半期 12,594百万円（49.5%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	170.69	—
2020年3月期第3四半期	151.19	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	394,547	190,283	47.5	2,773.03
2020年3月期	370,434	178,094	47.3	2,586.86

（参考）自己資本 2021年3月期第3四半期 187,272百万円 2020年3月期 175,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	620,000	1.1	19,000	5.6	20,500	4.2	13,000	6.9	192.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	70,751,855株	2020年3月期	70,751,855株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,218,227株	2020年3月期	3,058,747株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	67,613,544株	2020年3月期3Q	67,698,746株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

当社は2021年2月9日（火）にアナリスト、機関投資家向けの電話会議を開催する予定です。

この電話会議における四半期決算説明会資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

(補足説明資料)

2021年3月期 第3四半期決算短信 補足説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。感染拡大の防止と社会経済活動の両立に取り組む中で、一部に持ち直しの動きもみられていましたが、先行きについては、楽観視できない状況が続くと思われ、国内外の感染症拡大や経済の動向に注視する必要があります。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響による消費者マインドの悪化により急速に減少しましたが、社会経済活動が段階的に引き上げられたことにより、徐々に持ち直しの兆しも見られておりました。しかし、直近では感染の再拡大とともにその動きも足踏みしており、消費環境は再び厳しい局面にあります。

食品業界においては、巣ごもり需要等により、食品の家庭内消費が増加した一方、外食産業はコロナ禍の様々な制限による影響を受け、需要が大きく落ち込みました。その後、国の経済対策により、外食産業の業績も一時は回復の動きがみられましたが、再び下振れリスクに注意が必要となっております。

このような環境下、当社グループは「グループ中期経営計画 2022」に基づき、「4つの事業分野（乳製品事業分野、市乳事業分野、ニュートリション事業分野、飼料・種苗事業分野）における収益基盤の確立」に向けた取り組みを進めました。この中では、機能性を軸としたヨーグルトおよびチーズなどの主力商品の戦略的拡大に伴うプロダクトミックスの更なる改善、ニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模拡大と収益獲得の両立、種苗事業における戦略的拡大と収益基盤の整備、ならびにグループ経営資源の活用拡大やバリューチェーンの生産性向上によるグループ総合力の強化等に努めました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、従業員の感染予防に取り組み、お客様へ安全で安心して頂ける商品の安定供給に努めました。また、学校給食の休止や外食需要の減退により牛乳乳製品の需要が大幅に減少する中、生乳廃棄回避に向け生乳処理に取り組みました。その後、再び需要が減少する中で需給調整機能を果たしております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高は470,619百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は16,955百万円（前年同期比14.7%増）、経常利益は18,445百万円（前年同期比12.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11,541百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

セグメントごとの当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

① 乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、ニュートリション事業（機能性食品、粉ミルク等）等の製造・販売が含まれております。

売上高は199,210百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は11,247百万円（前年同期比28.8%増）となりました。

売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大により、内食需要の高まりが家庭用に追い風となる一方、業務用は、外食需要の落ち込みにより逆風となるなど、販売チャネルによって異なる影響を受けました。

このような中、バターは安定供給に引き続き努めたことから前年並みに推移しました。

油脂は内食需要の高まりや、新しい食べ方提案等のプロモーション活動を展開した効果などから微増収となりました。

チーズはTVCM等のプロモーション活動の効果や、内食需要の高まりにより家庭用市場が伸長したことなどから増収となりました。

機能性食品は特定保健用食品の毎日骨ケアMBPがマーケティング投資の継続により伸長しました。

これらの結果、当セグメント全体では増収となりました。

営業利益は、家庭用商品における販売物量の増加、固定経費の減少などから増益となりました。

② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。

売上高は211,539百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は3,747百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

売上高は、飲料は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた休校措置に伴う学校給食の休止影響に加え、消費行動や嗜好の多様化による消費の分散などから白物飲料、色物飲料ともに減収となりました。

ヨーグルトは、機能訴求型商品の「ガセリ菌SP株」「乳酸菌ヘルベ」それぞれの価値訴求強化に向けた、プロモーション活動を展開し拡大を図りましたが、市場における機能性表示商品のバリエーション化などにより減収となりました。

デザートは新商品の発売等、商品力の強化に取り組み、巣ごもり消費の拡大などによる需要を取り込み好調に推移しました。

これらの結果、当セグメント全体では減収となりました。

営業利益は、宣伝促進費の効率的な運用に取り組んだ効果はあったものの、新型コロナウイルス感染症による消費動向の変化の影響などを受け販売物量が減少したこと、オペレーションコストが増加したことなどから減益となりました。

③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売、造園事業が含まれております。売上高は32,911百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は1,125百万円（前年同期比2.7%増）となりました。売上高は、牧草・飼料作物種子および飼料の販売物量減少などにより当セグメント全体で減収となりました。営業利益は、固定経費の減少などにより増益となりました。

④ その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。

売上高は26,958百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は1,082百万円（前年同期比69.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して24,113百万円の増加となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金や有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定、投資有価証券が増加したことなどによります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して11,925百万円の増加となりました。

これは主に長期借入金や賞与引当金が減少した一方で、短期借入金や支払手形及び買掛金が増加したことなどによります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して12,188百万円の増加となりました。

これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、14,641百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、16,246百万円の収入（前年同期は17,293百万円の収入）となりました。前年同期との比較では、主に税金等調整前四半期純利益は増加したものの、売上債権の増減額の増加や法人税等の支払額の増加などにより、1,047百万円の収入減となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、24,404百万円の支出（前年同期は14,145百万円の支出）となりました。前年同期との比較では、主に有形及び無形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、10,258百万円の支出増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7,284百万円の収入（前年同期は6,289百万円の支出）となりました。前年同期との比較では、主に長期借入れによる収入が増加したことなどにより、13,573百万円の収入増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月13日の決算短信にて公表した業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,536	14,656
受取手形及び売掛金	71,880	83,012
商品及び製品	42,998	42,525
仕掛品	1,044	670
原材料及び貯蔵品	14,954	15,336
その他	5,183	6,139
貸倒引当金	△410	△407
流動資産合計	151,187	161,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,497	47,996
機械装置及び運搬具(純額)	54,136	53,613
土地	49,910	49,681
その他(純額)	20,487	27,249
有形固定資産合計	171,031	178,541
無形固定資産		
のれん	719	641
その他	3,007	2,823
無形固定資産合計	3,727	3,464
投資その他の資産		
投資有価証券	34,807	40,245
繰延税金資産	3,006	2,970
その他	6,928	7,634
貸倒引当金	△255	△243
投資その他の資産合計	44,487	50,607
固定資産合計	219,246	232,613
資産合計	370,434	394,547

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,354	58,539
電子記録債務	5,436	5,068
短期借入金	18,140	32,144
未払法人税等	3,740	2,173
賞与引当金	5,212	2,804
その他	32,435	32,509
流動負債合計	120,319	133,240
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	35,129	32,197
繰延税金負債	858	3,000
再評価に係る繰延税金負債	3,959	3,898
役員退職慰労引当金	20	20
ギフト券引換引当金	79	70
退職給付に係る負債	10,017	10,398
資産除去債務	1,298	1,332
その他	10,656	10,106
固定負債合計	72,019	71,024
負債合計	192,339	204,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,606	17,607
利益剰余金	125,489	134,461
自己株式	△4,961	△5,353
株主資本合計	158,134	166,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,747	14,048
繰延ヘッジ損益	△88	△81
土地再評価差額金	8,815	8,677
為替換算調整勘定	△142	△212
退職給付に係る調整累計額	△2,354	△1,874
その他の包括利益累計額合計	16,977	20,557
非支配株主持分	2,982	3,010
純資産合計	178,094	190,283
負債純資産合計	370,434	394,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	469,118	470,619
売上原価	358,651	360,764
売上総利益	110,466	109,855
販売費及び一般管理費	95,678	92,900
営業利益	14,788	16,955
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	696	684
持分法による投資利益	901	964
その他	771	635
営業外収益合計	2,377	2,288
営業外費用		
支払利息	247	305
その他	517	493
営業外費用合計	764	799
経常利益	16,400	18,445
特別利益		
固定資産売却益	10	27
投資有価証券売却益	2	15
その他	0	0
特別利益合計	12	43
特別損失		
固定資産売却損	2	9
固定資産除却損	883	985
減損損失	421	672
火災損失	566	—
その他	57	162
特別損失合計	1,931	1,829
税金等調整前四半期純利益	14,481	16,658
法人税等	4,090	5,061
四半期純利益	10,390	11,597
非支配株主に帰属する四半期純利益	155	56
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,235	11,541

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	10,390	11,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,038	3,118
繰延ヘッジ損益	57	7
為替換算調整勘定	△167	△98
退職給付に係る調整額	230	475
持分法適用会社に対する持分相当額	43	190
その他の包括利益合計	2,203	3,692
四半期包括利益	12,594	15,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,449	15,259
非支配株主に係る四半期包括利益	144	30

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,481	16,658
減価償却費	11,999	11,866
減損損失	421	672
持分法による投資損益(△は益)	△901	△964
のれん償却額	69	66
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△140	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,166	△2,408
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△160	△437
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	202	900
ギフト券引換引当金の増減額(△は減少)	△6	△8
固定資産除売却損益(△は益)	875	967
受取利息及び受取配当金	△703	△689
支払利息	247	305
売上債権の増減額(△は増加)	△10,821	△11,483
たな卸資産の増減額(△は増加)	91	421
仕入債務の増減額(△は減少)	3,776	3,601
その他	1,851	1,997
小計	20,115	21,452
利息及び配当金の受取額	761	788
利息の支払額	△286	△297
法人税等の支払額	△3,297	△5,697
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,293	16,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2
貸付けによる支出	△62	△244
貸付金の回収による収入	27	94
有形及び無形固定資産の取得による支出	△14,148	△24,263
有形及び無形固定資産の売却による収入	97	60
投資有価証券の取得による支出	△104	△14
投資有価証券の売却による収入	24	55
その他	19	△89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,145	△24,404

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△55	70
長期借入れによる収入	—	12,540
長期借入金の返済による支出	△2,553	△1,538
自己株式の取得による支出	△13	△392
配当金の支払額	△2,707	△2,704
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△957	△687
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,289	7,284
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,188	△882
現金及び現金同等物の期首残高	14,303	15,524
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	168	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,283	14,641

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	188,409	218,681	33,733	440,823	28,295	469,118	—	469,118
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,426	78	696	10,202	9,408	19,611	△19,611	—
計	197,835	218,759	34,430	451,025	37,704	488,729	△19,611	469,118
セグメント利益	8,733	4,341	1,095	14,170	639	14,809	△21	14,788

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業及び不動産賃貸事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 △21百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	199,210	211,539	32,911	443,661	26,958	470,619	—	470,619
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,323	85	587	9,997	11,034	21,031	△21,031	—
計	208,533	211,625	33,499	453,658	37,992	491,651	△21,031	470,619
セグメント利益	11,247	3,747	1,125	16,119	1,082	17,202	△246	16,955

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業及び不動産賃貸事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 △246百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。